

第33回長野県フィギュアスケート選手権大会

1. 主催 長野県スケート連盟
2. 主管 長野県フィギュア委員会
3. 期日 平成27年2月28日(土) 時間：参加人数により調整
※参加人数により変更することがある
4. 会場 風越アイスアリーナ
5. 競技規定 I. S. U. 及び日本スケート連盟の競技規定による
6. 競技種目 男女ともシングルスケート
7. 参加資格 長野県スケート連盟登録クラブの登録者
クラス分け課題は別紙のとおり、無級クラスも設けるが課題は初級クラスとおなじ
8. 表彰 (1)選手権クラス1位の者に優勝杯、メダル及び賞状、2位から3位にメダル及び賞状、4位から6位に賞状を授与する
(2)他各クラス1位から3位に賞状及びメダル、4位から6位に賞状を授与する
9. 参加申込 所定の申込用紙にクラブでとりまとめの上、必要事項記入、参加料(必ず現金書留)を添えて期日までに申し込むこと
 - (1)申込締切日 平成27年2月6日(金)必着
 - (2)申込み先 〒380-0911長野市稲葉575-2山崎弘雄TEL090-2670-4093FAX026-221-2230
 - (3)参加料 1人5,000円
 - (4)予定要素は2月20日までに 日本スケート連盟オンライン申し込みサイトにて登録すること <https://www.skatingjapan.jp/myac/>

【競技種目】

シングル・スケート男子

2014/12/18 訂正

クラス	参加資格		時間	課題
選手権	7級以上		2分50秒以内 4分30秒	ISU シニア課題 ショート・プログラム フリー・スケート ^{※1}
ジュニア選手権	5級以上	7級以上は年齢制限あり 1995年7月1日～2002年6月30日 ^{※2} に出生した者	2分50秒以内 4分	ISU ジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケート ^{※1}
ノービス A	4級以上 (見込み級を含む)	2001年7月1日～2004年6月30日 ^{※2} に出生した者	3分30秒	日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
ノービス B	3級以上 (見込み級を含む)	2003年7月1日～2006年6月30日 ^{※2} に出生した者	3分	日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
4級クラス			3分30秒	日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
3級クラス			3分	日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
2級クラス			2分	別記 1
1級クラス			1分	別記 2
初級クラス			1分	別記 3

シングル・スケート女子

クラス	参加資格		時間	課題
選手権	7級以上		2分50秒以内 4分	ISU シニア課題 ショート・プログラム フリー・スケート ^{※1}
ジュニア選手権	6級以上	7級以上は年齢制限あり 1995年7月1日～2002年6月30日 ^{※2} に出生した者	2分50秒以内 3分30秒	ISU ジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケート ^{※1}
ノービス A	6級以上 (見込み級を含む)	2001年7月1日～2004年6月30日 ^{※2} に出生した者	3分	日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
ノービス B	5級以上 (見込み級を含む)	2003年7月1日～2006年6月30日 ^{※2} に出生した者	2分30秒	日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
5級クラス			3分30秒	ISU ジュニア課題 フリー・スケート
4級クラス			3分	日本スケート連盟 全日本ノービス A 課題
3級クラス			2分30秒	日本スケート連盟 全日本ノービス B 課題
2級クラス			2分	別記 1
1級クラス			1分	別記 2
初級クラス			1分	別記 3

※1 選手権、ジュニア選手権のフリー・スケートはショート・プログラムの上位12名で行う

※2 ジュニア選手権、ノービスA、ノービスBの年齢要件は来シーズン年齢を含む

競技課題の内容

選手権クラス ショート・プログラム

演技時間 2分50秒以内

	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	
b)単独ジャンプ	トリプルまたはクワド・ジャンプ	トリプル・ジャンプ
	コネクティング・ステップあるいはフリー・スケーティング動作より直ちに行う	
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3、2+4、3+4	2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	あらゆるタイプのフライング・スピン	
	着氷後最少8回転	
e)スピン	足換え1回のみ キャメルまたはシット・スピン	レイバックあるいは サイドウエイズ・リーニングスピン
	フライング・スピンのランディング・ ポジションと異なるもの	
	各足最少6回転(合計12回転)	最少8回転(規定の姿勢で)
f)スピン・コンビネーション	足換え1回のみ、少なくとも2種類の基本姿勢※	
	各足最少6回転(合計12回転)	
g)ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンス	

※ ポジションと認められるためには2回転が必要

選手権クラス フリー・スケーティング

演技時間 男子4分30秒 女子4分

	男子	女子
ジャンプ	最大8個	
	1つはアクセル・タイプのジャンプを含む アクセルを含むいかなるダブル・ジャンプは(単独でも、コンボ/シーケンスの一部としても)2回まで 単独で繰り返された場合には+REPが付く	
	トリプル、クワドの2種類のみ、コンボ/シーケンスで繰り返し可能	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスは3つまで可能	
	ジャンプ・コンボのうち1つだけ3個のジャンプ可能	
スピン※	最大3	
	スピン・コンビネーション	
	フライング・スピンまたはフライング・エントランスのスピン	
	1種類ポジションのスピン	
	コンボは最少10回転、それ以外は最少6回転	
ステップ	氷面を十分に使用したステップ・シーケンス	
	コレオグラフィック・シーケンス※※	

※ ポジションと認められるには2回転以上必要

※※レベルはフィックス、GOEのみで評価される

2回転までのジャンプ、スピンを含むことが出来、BOXを占めない。形状には制約が無いが、明らかにそれと分かるもの

ジュニア選手権クラス ショート・プログラム

演技時間 2分 50秒以内

	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	ダブル・アクセル
b)単独ジャンプ	ダブルまたはトリプル・ルッツ	
	コネクティング・ステップあるいはフリー・スケーティング動作より直ちに行う	
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3	2+2、2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	フライング・キャメル・スピン	
	空中姿勢と同じ姿勢	
	着氷後最少 8 回転	
e)スピン	足換え1回のみ シット・スピン	レイバックあるいは サイドウエイズ・リーニングスピン
	各足最少6回転(合計12回転)	最少8回転(規定の姿勢で)
f)スピン・コンビネーション	足換え1回のみ、少なくとも2種類の基本姿勢※	
	各足最少6回転(合計12回転)	
g)ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンス	

※ ポジションと認められるためには 2 回転が必要

ジュニア選手権クラス フリー・スケーティング

演技時間 男子 4分 女子 3分 30秒

	男子	女子
ジャンプ	最大 8 個	最大 7 個
	1 つはアクセル・タイプのジャンプを含む アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは(単独でも、コンボ/シーケンスの一部としても)2 回まで 単独で繰り返された場合には+REP が付く	
	トリプル、クワドの 2 種類のみ、コンボ/シーケンスで繰り返し可能	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスは 3 つまで可能	
	ジャンプ・コンボのうち 1 つだけ 3 個のジャンプ可能	
スピン※	最大 3	
	スピン・コンビネーション	
	フライング・スピンまたはフライング・エントランスのスピン	
	1 種類ポジションのスピン	
	コンボは最少 10 回転、それ以外は最少 6 回転	
ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンス	

※ ポジションと認められるには 2 回転以上必要

ノービス A クラス

演技時間 男子 3 分 30 秒 女子 3 分

	男子	女子
ジャンプ	最大 7 個	最大 6 個
	第一ジャンプとして、アクセル系ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの 3 種類を含む	
	アクセル系ジャンプは(単独でも、コンビネーションあるいはシークエンスの一部としても)2 回まで ダブル・アクセル、トリプルの 2 種類のみ、コンビネーションあるいは、シークエンスで繰り返し可能 単独で繰り返された場合には+REP が付く	
	ジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シークエンスは 3 つまで可能	
	ジャンプ・コンビネーションのうち 1 つだけ 3 個のジャンプ可能	
スピン※	異なった種類 3	
	フライング・スピン(足換え無し 姿勢変更無し 最小 6 回転)	
	キャメルまたはシット・スピン (フライング・スピンのランディング・ポジションとは異なるもの。足換えの回数は任意)	レイバックあるいは サイドウェイズ・リーニングスピン (足換え無し)
	フライングの入りは不可、最少 6 回転	
	スピン・コンビネーション(足換えは任意 最小 10 回転)	
ステップ	氷面を十分に使用したステップ・シークエンス	

※ ポジションと認められるには 2 回転以上必要

ノービス B クラス

演技時間 男子 3 分 女子 2 分 30 秒

	男子	女子
ジャンプ	最大 6 個	最大 5 個
	第一ジャンプとして、アクセル系ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの 3 種類を含む	
	アクセル系ダブルジャンプは(単独でも、コンビネーションあるいはシークエンスの一部としても)2 回まで ダブル・アクセル、トリプルの 2 種類のみ、コンビネーションあるいは、シークエンスで繰り返し可能 単独として繰り返された場合には+REP が付く	
	ジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シークエンスは 2 つまで可能	
	ジャンプ・コンビネーションのうち 1 つだけ 3 個のジャンプ可能	
スピン※	異なった種類 3	
	フライング・スピン(足換え無し 姿勢変更無し 最小 6 回転)	
	キャメルまたはシット・スピン (フライング・スピンのランディング・ポジションとは異なるもの。足換えの回数は任意)	レイバックあるいは サイドウェイズ・リーニングスピン (足換え無し)
	フライングの入りは不可、最少 6 回転	
	スピン・コンビネーション(足換えは任意 最小 10 回転)	
ステップ	コレオグラフィック・シークエンス	
	形状には制約が無いが、明らかにそれと分かるもの(レベルはフィックス、GOE のみで評価される)	

※ 1 ポジションと認められるには 2 回転以上必要

※※コレオグラフィック・シークエンスの認定は ISU シニアと同じとする。但し女子は支持なし 3 秒以上のスパイラルが必要

【別記1】2級クラス 男女共通 PCS(SS, PE ,IN) ファクター: 1.8(全PC共通) 転倒:-0.2

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素 (演技時間2分)

a)ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを2回含むことができる。

第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)

1つはアクセル型ジャンプでなければならない。

同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)

b)スピン要素 最大2個 (レベルBで評価する)

1つは1ポジションのスピン(基本姿勢で5回転以上)

1つはスピン・コンビネーションのスピン(足換えは任意)

c)ステップ・シークエンス 最大1個(レベルBで評価する)

シークエンスの長さは1/2以上あれば認定する。

【別記2】1級クラス 男女共通 PCS(SS, PE ,IN) ファクター: 1.5(全PC共通) 転倒:-0.2

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素 (演技時間1分)

a)ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを1回含むことができる。

第一ジャンプは異なった4種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ不可

b)スピン要素 最大1個 (レベルBで評価する)

1ポジションのスピン(基本姿勢で5回転以上)

c)ステップ・シークエンス 最大1個 (レベルBで評価する)

シークエンスの長さは1/2以上あれば認定する。

【別記3】初級クラス 男女共通 PCS(SS, PE ,IN) ファクター: 1.2(全PC共通) 転倒:-0.2

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素 (演技時間1分)

a)ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを1回含むことができる。

第一ジャンプは異なった4種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可(ベースバリュー0.30で認定する)

b)スピン要素 最大1個 (レベルBで評価する)

1ポジションのスピン(基本姿勢で5回転以上)

シングル・スケーティング

【フリー・スケーティングの減点について】

- ① 転倒は1回につき1.0減点される。但し、ノービス課題は0.5、2級以下のクラスの減点は0.2点とする。
- ② 滑走時間の過不足は規定時間の過不足5秒ごとに1.0が減点される。

その他

- ※1 規定されている最大ジャンプ数のうち、第一ジャンプが重複したものは無価値となる。(2級以下クラス)
- ※2 スピンと認められるには3回転以上が必要、3回転未満は無価値となる。
- ※3 ジャンプでは必要回転数に1/4回転よりは大きい、1/2回転未満の場合はUnder-rotated“<”
1/2回転以上の場合はDowngraded“<<”となる。
- ※4 シングル・アクセル・ジャンプのダウングレードは無価値となる。(ワルツジャンプとは異なる)
- ※5 2級以下のクラスにおいては、後半に開始されるジャンプ要素の基礎値(GOEの値ではない)に対する1.1倍は考慮しない。

【日本スケート連盟ノービス課題競技会における演技中断の減点】

ISU コミュニケーション第1817号(演技の中断)の発表を受け、日本スケート連盟ノービス課題競技会における演技の中断による減点を以下のようにする。

- ① プログラムの中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.5を減点する。
- ② 競技者がレフェリーに中断を要求せず、事態を40秒以内に解消した場合、上記の中断を適用し、40秒を超えた場合は棄権となる。
- ③ レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフェリーは中断全体に対し2.0を減点する。

【2級以下のクラスにおける演技中断の減点】

- プログラムの中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.2を減点する。
- レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合、レフェリーは中断全体に対し1.0を減点する。